

落ち葉無料戸別収集を行います

受付期間 9月24日(木)～11月30日(月)

収集は10月1日(木)から開始し、11月30日(月)受付分まで行います。

旭川市では落ち葉を無料で戸別収集し、腐葉土にするモデル事業を行います。

注意

期間限定の収集です。受付期間終了後は無料での収集は行いません。

無料戸別収集の対象となるもの

広葉樹の落ち葉

広葉樹の落ち葉で次の場所から出されるものが対象となります。

- ①家庭の庭等
- ②公園や道路等の公共の場所

※プラタナス・イチョウも対象です。



モミジ



ナナカマド



ハルニレ



イチョウ



プラタナス

排出方法

透明又は半透明の袋に入れて、受付専用電話に申し込んでください。

※地域清掃・ボランティア清掃用ごみ袋は使用できません。

※落ち葉以外のものが入っている場合は収集できません。砂、ごみ等はいれないでください。

無料戸別収集の対象とならないもの

- ①マツ、ヒバ、オンコなどの針葉樹の落ち葉
- ②トマト、トウモロコシ、大根、白菜等の野菜の茎や葉
- ③刈草
- ④枝（ただし、剪定枝は別に無料収集を行っています。）



マツ



ヒバ



オンコ



トウヒ



トウモロコシ



トマト



刈草

対象とならないものの排出方法

燃やせるごみ用の有料指定袋（黄色）に入れて燃やせるごみの日にごみステーションに出してください。剪定枝は、受付専用電話（36-6711）に申し込んでください。

また、会社などの事業所敷地内から発生した落ち葉は、事業系ごみとして適切に処理してください。

受付専用電話

（番号のお掛け間違いにご注意ください。）

旭川市クリーンセンター

☎ 36-8841

受付時間 月～金 午前9時～午後5時（祝日を除く） ※収集日は申込時に確認してください。

落ち葉堆肥（腐葉土）の作り方

ご家庭で試してみてください。



A 落ち葉に水をかけ、全体を湿らせる



① 落ち葉を集める。（容器等を使わなくても良い）剪定した小枝を細かく切って混ぜても良い（地面に毛布を利用して良い）



② 集めた落ち葉を布団程度の厚さに広げる。



③ 水をかける。下の方まで濡れるようにかける。



④ 落ち葉 200ℓ～300ℓに対し、落ち葉腐葉土化促進剤 1kgを全体にふりかける。

- ・米ぬかを追加するとより効果が上がる。
- ・落ち葉を細かくしたい小枝を切って加えると空気層が出来て発酵が早く進みます。
- ・青いままの葉っぱを混ぜると発酵が早いです。



⑤ 全体をよく混ぜ合わせて積み上げる。

- ・混ぜながら、水分が足りないようなら水を加える。
- ・落ち葉を握って水分が手に付くくらいがちょうど良い。水分 60% くらいが発酵に適している。



⑥ 古いじゅうたんや毛布を利用する。手を入れて熱くなったら（40度～50度位）切り返し混合する。（水分が足りない場合は、水を加える）

10日くらいで発酵熱があがる。



⑦ 切り返しは 2 週間毎に 3 回行い、その後は月に 1 回程度繰り返す。

ポロポロになって土の良い香りがしたら完成

C 全体をよく混ぜ合わせる



D 古い毛布かじゅうたんなどをかぶせる



E ポロポロになって土の良い香りがしたら完成

北海道は図 C で冬を越し、春から切り返しをしてください。6月初旬には使用できます。